

京都保護観察所長賞

犯罪を減らすためには

京都府・京都市立紫明小学校 六年 佐々木 千夏

私は、先日、裁判の傍聴に行き、窃盗や詐欺の罪を犯し、裁判にかけられている人達を見た。裁判は、誰でも見ることができるよう、傍聴という形で公開することが、日本国憲法で認められているらしい。腰になわをしばられ手に手錠をはめられながら裁判所の法廷に連れてこられる罪を犯した疑いのある人の姿を見るのは、とても大きな衝撃を感じた。裁判官から、もう二度と罪を犯さないようにしてください、と説教を受けている姿も、とても印象に残るものだった。そうした扱いを受けている人を目の前で見ながら、犯罪はよくないことはすなのに、なぜ犯罪がなくならないのだろう、と私は改めて疑問に感じた。また、罪を犯すということがどんなに悪いことか本人はわかっているはずなのに、なぜ罪を犯すかも疑問に感じた。

裁判の様子を見て、犯罪をする人は確かに悪い人だが、犯罪をするにも原因があるのではないのかと思う。罪を犯す原因として、例えば、どうしてもお金がなくて困っていたり、スリル感を味わうためにやっているか、自分には家がなくて刑務所で暮らしたほうが普通の生活ができるからといった理由が考えられる。そういう犯罪をしてしまうのを防ぐためにどうしたらいいか。どうしてもお金がなくて困って罪を犯している人には、保護や保障を厚くする。スリル感を味わうために罪を犯している人には、犯罪をするかどうかのようなことが起こるか、犯罪をされた人はどのような気持ちになるかをしっかりと教育する。自分には家がなくて刑務所で暮らしたほうが普通の生活ができるから罪を犯している人には、刑務所でもっと厳しい刑罰を与えたり、保護や保障を厚くする。また、その人が、普

通の生活を一人でできるようにするために、その人にあった仕事を一緒に見つけるなどが考えられる。

そういった工夫をすれば、犯罪者は減るのではないかと思う。そして、なぜ、犯罪者が減るべきなのかを突き止めてみると、それは、自分ももし犯罪をされる側になると、いやな暗い気持ちになるからだ。いやな暗い気持ちになる人が減れば、より明るい社会になるのではないかと思う。

私が裁判を見ている限りでは、私たちのような子供たちに裁判を見られている犯罪者は、とても恥ずかしそうだった。名前や住所もすべて答えさせられ、問い詰められ、時には手錠もかけられていた。私たちに裁判での姿を見られている被告人が、そのような、恥ずかしい思いをもつたかと思いたしたら、罪を犯そうという気持ちが少ないかもしれない。そうだとしたら、裁判が傍聴という形で公開されていることは、陰で悪いことが起こらないことを防止するだけではなく、犯罪者を減らすという効果もあるのではないかと思う。

一方で、未成年の犯罪の裁判は、傍聴をすることができないと知った。未成年であっても、自分より年下の子供に情けない自分の姿を見られる事はとても恥ずかしいことだと思っし、自分は年下の子のお手本でなくてはいけないという意識が傍聴されることで、高まるのではないかと思う。未成年者の犯罪について傍聴ができないことには理由があるのだろうけれども、きちんとみんなの意見を聞いて考えを言い合うことも必要だと感じる。

傍聴することで、私はただ単に裁判というものを知ることだけでなく、裁判に関わる人や法律を学べるきっかけになった。もっと「傍聴」を小学生にも知ってもらえるように身近な存在にすればいいと思った。たくさんのお小生の意見も聞いてもらって、犯罪者が減る素敵な明るい社会を作っていきたい。

京都保護観察所長賞

わたしのいじり

京都府・京都市立大原小中学校

九年

松坂 まつさか

圭乃 よしの

わたしはほぼ4つの障害をもっています。なんでほぼとつけるのか。わたしはその障害のボーダーラインにいるからです。こんなこといわれてびっくりした人もいると思います。わたしはそう思われても仕方がないと思います。みんなと違いすぎるからです。でも、どうしてもしんどいと思ってしまつてしまいます。わたしは、自分が障害者だとカミングアウトしてもつけいれられる世の中になってほしい。そうつぶつぶ思っています。

先程わたしは4つの障害をもっているとカミングアウトしました。具体的に言うとADD・眼球運動障害・HSP・LD。LDが私の障害に入っているのかよくわからないものです。HSPは実は障害ではありません。そう話しても頭の中にはてながたくさん浮かぶと思います。私のまわりの人、私の家族もほとんど知りません。家族の中でわかる人といえば私の母くらいです。そんなもんだから、受けいれられにくいこともあります。私は、障害があつて苦労したことがたくさんあります。学校についてもしんどい、家についてもしんどい。そんな私の話を少しします。一年生の算数の授業のことです。みなさんちがいの問題を覚えていきますか。要はひき算をしるということなんです。まあこれにすぎない苦労しました。私はちがいで何のこと状態でした。そこに担任の先生の怒りまじりの

「なにがいついじりたらいじりたのよ。」

とこののをいわれたもんですから泣きまくりました。私はただちがいの意味を教えてもらいたかっただけなんです。このとき泣いたことで担任にサイン、つまりSOSを出したのですが、悪いカタチでSOSを出す子もいます。たとえば、非行や犯罪などです。どうして

てこの形でSOSを出すのかみなさん考えてみてください。もちろんその行動をしてしまった子供にも落ち度があります。でも、私はそこまでなるほど悩んだ子供に気がついてあげられなかったまわりの人にも落ち度があると思います。2世代の子供たちは私も含め、自己肯定感が低い傾向にあります。つまり、悩みやすい子供が多いということです。ですが私のような発達障害の子供は、うまく伝えにくいのです。私は軽度発達障害者です。だいたいのは話せませんが非行・犯罪をするほど追いつめられたらどうすることもできない、どう話せばいいのかわからないと思います。だからまわりの人に気づいてほしいのです。

そこまで悩んでいる人は何かしらサインを出しています。あまり笑わなくなつた。無気力。あまり眠れていない。イライラすることが多く、イライラをすべ出してしまつ。友達と過ごすことが少なくなつてきた。など人それぞれ形はちがいますがSOSを出しているはずなんです。だからあなたに気づいてほしいと思つている人が確かにいるはず。こんなふうに、考えるともっと友だちなどのまわりの人にやさしくできないのではないかと思つています。気づいてあげること非行や犯罪の数をもっと減ると思つています。非行・犯罪をしてしまつたら、社会の居場所がすくなくなくなつてしまついます。だからこそ私たちがよりそうことで反省、そして反省したことをふまえて前にふみ出す一歩になると思つています。

今回私は、障害者の立場として書きました。ですがこれは障害をもつていない人にとつても同じことがいえると思つています。なぜなら、しんどい、助けてほしいと思つて心は一緒だからです。

私は心から楽しいと思つているのなら、幸せだと思つているのなら非行・犯罪をしないと思つています。する必要もないですから。

これを読んでみなさんは周りの人のサインに気づいてあげられる人になつてほしいです。心が追いつめられるほどになる前に、サインに気づき寄りそつてあげられる。そうなつたら、悩んでいる



子ども多かれ少なかれ救われるはず。だから、まわりの人がしんどくならないような社会になれば非行や犯罪はぐんと減る。そのためには、あなたの協力が重要です。みんなでストレスフリーな社会をつくってほしいと思います。

